

令和6年 第12回	入間市教育委員会定例会会議録
開会・閉会日時	令和6年12月25日(水) 午後3時00分開会・午後4時50分閉会
開会場所	市庁舎 C棟5階 501会議室
議長	中田一平
出席者の氏名及び席次番号 中田一平(教育長) 高山茂(1番) 橋本清美(2番) 山本和人(3番) 齋藤良徳(4番)	
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名 教育部長 浅見泰志 教育部次長 佐藤政史 教育部参事兼教育総務課長 新屋朋徳 教育部参事兼学校教育課長 山崎大志 教育総務課学校統合調整室長 中村正幸 教育部副参事(教職員指導担当) 岡崎公伸 教育部副参事(子ども未来室担当) 井上博子 学校給食課長兼学校給食センター所長 橋本賢司 社会教育課長 浅川英雄 博物館長 大久保卓 図書館長 平岡康子	
欠席した者の氏名 なし	
傍聴人の有・無 なし	
書記	教育総務課 秘書・総務担当 主幹 椿潤

## 議 題 及 び 議 事 の 大 要

次の日程により審議され、主な議題、議事については次のとおり

- 1 開会
- 2 会議録の署名  
定例会（11／25）の会議録 教育長、4番委員署名
- 3 会議録署名者の決定  
本日の署名者 教育長、1番委員
- 4 教育長報告
  - （1）2学期の小・中学校の教育活動について
  - （2）教育未来会議について
  - （3）令和6年第4回入間市議会定例会について
- 5 職務代理者及び委員報告
- 6 事業等報告
  - （1）主要行事予定について
  - （2）令和6年第4回入間市議会定例会一般質問答弁概要について
  - （3）第28回『むかしのくらしと道具展』について
- 7 事務局報告  
次回の日程 1月定例会 1月28日（火）午後1時30分
- 8 閉会

主な報告及び議事の要旨

開 会	
教育長	ただいまの出席者は5名であります。定足数に達しておりますので、これより令和6年入間市教育委員会12月定例会を開会いたします。
会 議 録 の 署 名	
教育長	11月定例会の会議録について、何かご意見、ご質問はありますか。(全員なし)
会議録署名者の決定	
教育長	本日、12月定例会の会議録署名者は、教育長と1番委員を指名します。
教 育 長 報 告	
<p>1 2学期の小・中学校の教育活動について</p> <p>厳しい暑さの中、8月26日に2学期がスタートしました。暑さ対策として、運動会及び体育祭をこれまでの9月から10月の開催に変更しましたが、9月以降も真夏日が続くなか各学校共に教育活動を工夫し対応しました。給水や衣服調節、日程変更、運動中止等の対策を講じたことにより、熱中症により救急搬送された児童生徒も数名いましたが、重症には至らず、翌日には通常の生活に戻ることができました。結果として、中学2年生を中心として行われた部活動新人戦を含め、計画されていた運動会・体育祭・合唱祭等の学校行事を保護者の参観を含め、すべての学校で実施することができました。</p> <p>インフルエンザ等による学級閉鎖もありましたが、「学び合い学習」を中心とした対話的な学習及び体験的な学習を計画通りに実施し、子どもたちの学びと健やかな成長の機会を保障することができました。</p> <p>12月24日、すべての小中学校において、終業式が実施され、83日間の2学期が終了しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等は、9月に小学校2校、中学校2校、10月小学校1校、11月に中学校1校の計6校となり、その後は収束傾向にあります。反面、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の状況は、9月に小学校1校、中学校1校、10月に中学校1校でしたが、11月には学校閉鎖を含め小学校が4校と増加し、12月は、小学校7校、中学校7校と急増し、残念ながら終業式当日も小学校2学級、中学校2学級が学級閉鎖となってしまいました。</p> <p>年末年始は、人との交流機会が増えることもあり、十分な感染防止対策を児童生徒に指導するよう、各学校に依頼をしました。</p> <p>12月25日から、14日間の冬休みがスタートしました。</p> <p>新たな年のスタートとなる3学期始業式を児童生徒、教職員共に健康で明るく迎えられよう、今後も適切に対応していきます。</p> <p>2 教育未来会議について</p> <p>3年目を迎えた「児童生徒が一人一台活用するタブレット端末」を活用したオンライン会議、令和6年度第2回教育未来会議を、12月11日から18日の3日間、実施しました。</p> <p>今回は、新しい学校の代表者による会議でしたので、小学校児童には8つの質問、中学校生徒には10の質問を「〇×カード」によるアンケートとして行い、評価の理由につい</p>	

て意見発表を行いました。入間市教育委員会が推進している「学び合い学習」に関する質問では、①「学び合い授業」の実施状況、②「学び合い授業」への評価、③「学び合い授業」は将来役に立つかの3つの質問を行いました。いずれも大変良好な結果であり、特に、「学び合い授業は将来役に立つか」の質問ではすべての児童生徒が役に立つと回答するなど、有効性を実感していることがわかりました。

次回は3学期を予定しており、児童生徒の学習と生活について、さらに深く話し合いを行いたいと考えています。

### 3 令和6年第4回入間市議会定例会について

11月20日に開会された市議会12月定例会は、12月12日に閉会しました。

一般質問では、9名の市議会議員より、「PTAなど保護者会からの寄付の常態化改善とPTA役員の負担軽減」、「学校の樹木管理について」、「現西武中学校についての沿革」、「子どもたちが学校で希望を語れる環境づくり」、「茶場碑等の文化遺産について」、「野田中・西武中の統合に伴う通学路の安全確保について」、「小中学校トイレに生理用品の設置を」などの質問がありました。詳細につきましては、後ほど執行部より説明があります。

予算関連では、本議会定例会において、令和6年度一般会計補正予算第5号に、主なものとして、「小学校及び中学校の管理運営費の修繕費」として、総額1千8百21万6千円の増額補正を計上しました。

また、「西武中学校既存校舎等解体工事实施設業務委託」の増額補正を計上し、これに関連して、「繰越明許費の設定」がありました。

その他、「自校給食運営費の修繕費」の増額補正などについて、福祉教育常任委員会へ審議が付託され、委員会では、「小学校及び中学校の管理運営費の修繕費」については施設修繕の緊急性や具体的な内容について、「西武地区中学校の整備事業について」は、今回の入札における総括などの質疑が行われ、閉会日に可決されました。

教育長	何かご意見、ご質問はありますか。 (全員なし)
-----	----------------------------

職務代理者及び委員報告	
-------------	--

教育長 齋藤委員 教育長	職務代理者及び委員の皆様から、何かご報告はありますか。 12月16日、第1回都市計画審議会に出席しました。 他に何かありますか。 (全員なし)
--------------------	--

事業等報告	
-------	--

教育部次長より (1) 主要行事予定について 主要行事予定について報告 (2) 令和6年第4回入間市議会定例会一般質問答弁概要について 令和6年第4回入間市議会定例会一般質問答弁概要について報告 (3) 第28回『むかしのくらしと道具展』について 第28回『むかしのくらしと道具展』について報告 ※(2)については、教育部長から報告	
---	--

教育長 高山職務代理者	何かご意見、ご質問はありますか。 1点目に、PTAは各小・中学校で組織されているのでしょうか。また、PTA加入率について教えてください。また、教育後援会について、各小・中学校に設置されているのでしょうか。2点目に、新西武中学校にプールは設置しない方向とのことですが、水泳指導を行うことが学習指導要領上も求められていますが、今後、市として水泳指導をどのよう
----------------	--

<p>教育長 社会教育課長</p>	<p>に行っていくのでしょうか。3点目に、不登校の児童生徒数は増加しているように感じていますが、実際の人数を教えてください。あわせてインフルエンザ等による学級閉鎖等の状況について以前はお知らせがありました。最近では報告がありませんので、今の状況を教えてください。ではまず、PTAについて回答をお願いします。</p> <p>各小・中学校ともPTAは組織されています。ただ、後援会については把握していませんので、状況把握を行いたいと思います。加入率についてですが、各PTAからの報告によりますと、市全体で数世帯の未加入世帯があるとのこと。</p>
<p>教育長 学校統合調整室長</p>	<p>続いて、西武中学校のプールについて回答をお願いします。</p> <p>施設の状況という観点からお答えします。現在は、小・中学校27校に自校プールが設置されていますが、豊岡小・高倉小・東町小についてはプールの老朽化のため、機能の回復が費用面から困難となっており、民間の事業所に水泳指導を委託しています。現在の西武中学校についても補修を要する箇所があり、授業を行っていない状況です。どの学校もプールの設置から数十年経過しており、その間に大規模な改修は行えておらず、小規模な修繕を繰り返して機能維持に努めているところです。このままプールを維持していくのは困難という認識です。一方で、どの学校も屋外にプールが設置されているため、実際に授業を行えるのは6月から7月の1月程度に限られます。これらのことを踏まえ、今後の水泳指導について検討を行っているところです。自校プール以外の水泳授業の方法として考えられるのは、地区で1つのプールを複数校で共有する、市内4つの民間事業者への水泳指導委託、年間を通じて使用できるプールを新設したうえで、全校で使用することなどが考えられます。ただ、いずれの方法も費用がかかったり、学校からの移動手段の確保だったり、民間委託するにしても、事業者数に比べ、学校数が多いため授業を行える回数に制限が生じてくると想定されるため、授業時間数をどう確保するか、また減少させるのかといったことを検討しています。新西武中学校にプールを設置するにはおおよそ3億円が必要となることもあり、現時点ではプールを設置しない方向で検討していく状況です。</p>
<p>高山職務代理者 学校統合調整室長</p>	<p>確認ですが、プールの建て替えや修繕は費用がかさむので、民間委託をしていく方向ということでしょうか。</p> <p>現状では、1つの選択肢として民間委託があります。民間事業がある地区も限られますので、地区外の学校から移動するよりも近隣の学校を利用した方が近いといったこともあります。一方で、1つのプールを複数校で共有するための調整が大変ということもあります。民間委託そのものは児童生徒、保護者、教員から肯定的な意見がありますので活用を考えていくところではありますが、現状ではまだまだ検討の余地がある状況です。</p>
<p>高山職務代理者 学校統合調整室長</p>	<p>今後、立地条件の悪い学校では水泳指導を行わないということもありうるのでしょうか。</p> <p>授業の方針ということになりますと学校教育課の管轄かと思われませんが、教員からはプールの授業は行っていきたい意向があることは確認しています。委託すると、指導効果が高かったり、年間を通じて温水プールが使用できたりといったメリットがある一方、事業者側のキャパシティの問題等もあり課題が残っています。</p>
<p>高山職務代理者</p>	<p>大変難しい問題があると思います。多くの方は、学校にはプールが設置されていると思っていますし、プールがないために他の学校への入学を希望する家庭も出てくる可能性もあると考えられます。指導要領などでも水泳指導を行う必要があるのではないのでしょうか。</p>

<p>学校教育課長</p> <p>高山職務代理者 学校教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>水泳指導に関して、施設が用意できない場合は、他のものに代替することができることが指導要領上規定されています。埼玉県内の中学校では座学で代替している自治体もあると聞いています。小学校においては児童に水に慣れてもらうという観点からも、水泳指導を行っていくことが望ましいと考えますが、費用面も考える必要性があります。</p> <p>水泳指導の代替は可能ということで了解しました。</p> <p>続いて、不登校児童・生徒の人数ですが、後ほど関連資料をお配りします。不登校発生率の傾向としては、これまでは国の平均よりも低い割合でしたが、ここ数年は国の平均に近い割合となっています。インフルエンザ等による学級閉鎖の状況についても今後は随時お知らせしていきます。</p> <p>他に何かありますか。 (全員なし)</p>
<p>そ の 他</p>	
<p>教育長 橋本委員</p> <p>学校統合調整室長</p> <p>山本委員</p> <p>学校統合調整室長</p> <p>山本委員</p> <p>高山職務代理者</p> <p>学校統合調整室長</p> <p>橋本委員</p> <p>学校統合調整室長</p> <p>齋藤委員</p> <p>教育総務課長</p>	<p>委員の皆様より、何か報告などはありますか。</p> <p>野田中学校と西武中学校の統合にあたり、学校の近くにはスクールゾーンが設定されていると思いますが、スクールゾーンの増減やグリーンゾーンの設定の変更はあるのでしょうか。自転車通学の場合、車道を走行することも考えられ、子どもの命を守るためにもスクールゾーンなどは非常に重要だと考えています。</p> <p>スクールゾーンについては小学校の半径500m以内に設定されるものですので、中学校の統廃合による増減はありません。</p> <p>自転車通学用の経路設定はされているのでしょうか。また自転車専用レーンなどはありますか。</p> <p>自転車専用レーンの設定はありません。自転車通学にあたっては3つの経路を設定します。国道299号を通るルートでは、自転車の歩道通行が認められています。旧細谷医院のある横断歩道を横断するルートでは南側に既存のスクールゾーンがあります。白髭神社の脇を通るルートでは、特段の規制はかかっていません。スクールゾーン等を含めどのような対策が可能かは、警察、庁内関係課、学校、保護者、地域等を含む関係機関で連携しながらできることは何かということを取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>自転車の利用者が増えることが予想されるので、対応をお願いしたいです。</p> <p>新西武中学校が開校した際に、自転車通学を予定している生徒数を教えてください。</p> <p>以前実施したアンケートによりますと、今の中学1年生と2年生で50人程度、現在の小学6年生でも同じくらいの割合と仮定すると、合計75人から80人くらいと想定されます。</p> <p>自転車通学となった場合、ヘルメットが必要になると思います。ヘルメットは生徒が用意するのでしょうか。それとも学校等から支給されるのでしょうか。</p> <p>原則は各家庭での用意となります。ただ、今年度については市内の事業者団体より寄贈があり、生徒へ配布しました。</p> <p>別件になりますが、産業文化センターの改修工事が予定されていると聞きましたが、改修計画の詳細や教育委員会関係施設及び行事への影響並びに対策を教えてください。</p> <p>産業文化センター改修の工期等についてですが、公共施設マネジメン</p>

	<p>ト計画の方で予定されているのが、計画上は令和10年・11年に改修する予定になっています。なお、ホールの補強工事は完了していますので、ホール以外が工事の対象となります。関連施設への影響については、所管の方から回答します。</p>
<p>図書館長</p>	<p>図書館本館は一時的な移転を予定しています。移転先や移転方法については現在検討中です。これからの図書館の在り方をどのように考えるかにより移転方法等変わっていくと想定されますので、図書館の在り方を多角的に再検討しているところです。</p>
<p>教育センター所長</p>	<p>教育センターは令和9年度末に現在の場所からの移転を予定しています。図書館と同じく、移転方法や移転先については検討中です。移転先でも教育センターの機能を果たしていけるように調整していきます。</p>
<p>齋藤委員 教育総務課長</p>	<p>ホールは工事期間中も利用可能ということでしょうか。 その通りです。ただ、運営のところについては現在検討している最中ですので、決定しましたらお知らせできると思います。</p>
<p>山本委員</p>	<p>コミュニティスクールの今後の進め方について、コミュニティスクールは今後欠かせないものと考えており、将来的には考え方も変わってくるかもしれませんが、地域社会とのつながりをもっと強めていくことが求められるのは間違いないだろうと思います。そうした中で、本市の場合は地域交流研修会が開かれたりして、非常に企業の側からも学校を支えようという機運が高まっていると思いますが、では、そこで何ができてきたのかという点では、全てを把握できている訳ではありませんが、学校運営協議会の設置、地域コーディネーターの任命でした。地域の側の地域学校協働本部の活動自体は十分に行われていないと思います。学校統廃合の問題もあり、子ども達の人数も減少し、PTA離れや活動の低下なども見られ、行政として取り組みに力を入れていく必要があると感じています。学校教育と社会教育の2つの教育の場が考えられ、日本社会の中で法律があり、その支援が行政の役割としてあります。この観点でみると、学校教育は目で見やすいところもあり、力を入れやすいと思いますが、社会教育の力をもっと発揮していかないとコミュニティスクールは成り立っていかないと考えます。</p> <p>昨年、私が地域交流研究会の際に「学校支援から学校を核とした地域づくりの推進」という話をしました。日本の歴史を考えた時に、学校というのは長く地域社会の文化的中心施設でした。しかし、戦後に公民館が建設される中で、学校以外に成人が学ぶ場所ができ、社会教育はそうした場所で行うこととなりました。学校で行われていた成人に対する教育的働きかけは学校から切り離されるような形となったわけですが、その中でこれから社会教育というものを地域社会の課題解決にも活かしていくという形にしていくとなれば、どんなことが必要かといったところから入間市に必要とされる取り組みとして何点かまとめてみました。</p> <p>講演の中では具体的な話ができずに終わってしまったのですが、教育委員会事務局で特に地域社会の問題は、現在は社会教育の経営というような形で行政が中心となって関わっていく方が良いのではないかとわかるようになってから、社会教育主事講習の講習科目も変わってきました。教育委員会事務局、特に社会教育課が中心となって社会教育支援をしていくことが必要ではないかということと、社会教育主事の実質的な職務に地域学校連携活動の推進を位置付けていくことも必要ではないかと思います。今、社会教育主事の配置されている博物館と教育総務課では、社会教育主事の仕事が十分になされていないのではないかと思います。また、各地区に地域学校協働本部をきちんと設置して、実質的</p>

な活動に取り組むことが必要だと思いますが、これも地区センター化したチャンスと重なる中で必ずしもこれが十分にできていないと思います。そういう意味では、地域学校協働本部の活動もお互いに情報交換ができるような連絡協議会を設置したり、小・中学校教員との連絡会議を設けたり、あるいはコーディネーターを養成する講座を開き、社会教育の分野を中心に人材発掘をしていくべきだと思います。このようなことを前回提案したのですが、今後のことを考えると、まず計画的に進めることを検討したらどうかと思います。いろいろと計画を立案していかないといけないと思います。

今現在、コーディネーターを務めている方への研修も必要ですし、社会教育主事に計画的に関わってもらうために何をやるかなど様々なことが考えられます。また、市民や企業に対するコミュニティスクールのPRも必要に思います。先ほどヘルメットの寄贈があったとのことですが、そうしたことを伝えることによって自分たちに何ができるかということを考えてもらえるでしょうし、保護者も何をしたらいいか、地域は何をしたらいいかを考えてもらえるのではないのでしょうか。そういう意味では教育委員会ニュースを作ってその中でコミュニティスクールをPRしていく、またホームページ等を作成して皆さんにアクセスしてもらうことも考えられると思います。

部活動の地域移行を進めるうえでも、企業や団体との連携は不可欠になると思います。企業としては教育に関心を持っていると考えられ、教育に関わりを持ちたいと考えているように思います。節度ある関わり方というものがあると思いますし、企業目線な活動も従来からあると思います。また、社会教育関係団体だけに限らず、高校・大学・専門学校なども関わるができると思います。将来的には高校の生徒数も減少していくとなれば高校との部活の連携もできる可能性がありますし、計画的に進めていけば実現できると思います。また、社会教育士の把握及び人材活用を図るということも必要だと思うので、そうした人々に呼びかけることもPRに含めて、研修会を開くなどしながら人材活用を図っていくことも必要だと思います。また、地区センターが誕生して地区センター長は公民館長を兼ねることになっていますが、地区センター長の職務と公民館長の職務が異なっている様子があると思います。その両方を理解しながら進めていくということを見ると、そこには様々な課題があるように思いますので、課題解決を図るために研修会などを通じてそれぞれの地域の状況に応じて館長が仕事をしやすい形に持っていくこともまた求められると思います。少なくともこういったことが求められると考えられますので、そこに向けて教育委員会事務局としてどんな問題点があるのか教育委員も含めて議論できればと思います。

社会教育課長

貴重なご意見をいただいたと思います。現状を説明しますと地域学校協働本部は山本委員がおっしゃったように、コーディネーターを各本部に配置をして学校運営協議会に参加しています。その中で議論された内容をどのように本部の活動に結び付けていくかという点で、コーディネーターも考えていただいているようです。社会教育課ではコーディネーターの現状を把握するために10月に会議を行い、現状把握及び情報交換を行いました。その中では、地区センターとの関りが大切だとか学校との関係をどう築いていくかなどのお話がありました。いただいた意見については校長会議にて報告を行い、課題の共有を行い今後につなげていきたいと考えています。コーディネーターとの会議も来年に開催を予定しており、そこで新たに生じた課題等について共有することで、各本部での活動につなげていきたいと考えています。実際に、進展している本

	<p>部としては、金子中学校区と黒須中学校区です。金子中学校区は令和4年度から活動があり、コーディネーターが地区センターと学校長と協議を行い、まつりでの活動の準備等を行っています。黒須中学校区についても、コーディネーターが地区センター及び学校と定期的に会議を行い、除草作業や見守りなどできるところから活動を始めているそうです。地区ごとに差がある現状ですので、他地区での活動に広げられるように社会教育課として進めていきたいと考えています。全中学校区に広げることができれば今後、この活動も盛んになっていくと思います。地区センターを絡める形が上手くいっていますので、地区センターと協議をしながら進めていきます。</p>
<p>山本委員 社会教育課長 山本委員 社会教育課長 山本委員</p>	<p>これらのことは社会教育委員会会議などで報告はしていますか。 社会教育委員会会議や公民館会議で報告をしています。 その時に議論にはなりませんでしたが。 今のところは議論にはなっていません。 教育委員会にはそうした報告はありませんが、報告をする考えはありませんか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>現状はまだまだ発展途上でしたので報告はしていませんでしたが、今後は定期的に報告します。</p>
<p>山本委員</p>	<p>コーディネーターを決めたから、「ではやってください」でできるものとは思えません。やはり、人々の関わり具合は違いますからそのところをサポートしていく必要があると思いますし、情報も提供していく必要もありますし、研修なども実施する必要があると思います。そうしたことを何から手を付けていくか考え、計画を作ってもらわないと進んでいけないと思います。社会教育課の中で担当を決めていたり、あるいは策定したりした計画はないのでしょうか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>今年度は内部で検討して進めてきました。来年度は社会教育主事が1人増える予定ですので、その職員を中心に実施していく予定です。</p>
<p>山本委員</p>	<p>形を作ればできるというのではなく、フォローを行うことが重要だと思います。行政のガバナンスということを考えると、地域社会にどれだけ理解している人がいるかということを作り上げていかないとできない話になってきます。文部科学省の中央教育審議会でコミュニティに関することをどうしていったらよいかということのをこれからの時代のなかでのコミュニティの関わり方の諮問を6月にしたばかりです。その中で社会教育の役割や考え方を変えていく必要があるとなるかもしれませんが、少なくともそういう動きがある中で、今、地域との関わりを作り上げていかないと、次の時代に求められるものに対応できないと思います。国の考えに従えということではありませんが、文部科学省だけでなく内閣府などでもコミュニティしかないと考えています。ソサエティ5.0などができたとしても、それを支えていく人との繋がりを作り上げる。それが重要であることは間違いないと思います。社会教育の人の力をより強くしていかないといけないと思います。社会教育の人達も人のために何かしたいと考える人がたくさんいますから、そういう人をうまく捉えていく必要があります。行政が力を入れれば、住民も協力してくれると思いますので、そうした住民を捉える力を地区センター長やコーディネーターが持つばよりうまくいくでしょうし、そうした力をつけることができるようにしていかななくてはこの事業はできませんし、息の長い事業になると思いますので、進めていくために今からやっておくべきだと思います。</p>
<p>高山職務代理者</p>	<p>総合教育会議で市長から教育改革について話があり、学びの場は学校や家庭のみにとどまらず、地域社会全体が一体となって子ども達の成長</p>

	<p>を支えていくものである、という内容でした。地域や社会が一体となって子ども達の教育を支えていくのが基本的な理念だと思います。具体的な例が、地域学校協働本部やコミュニティスクールです。そういう意味で山本委員から発言のあるように、社会教育主事などを全面に出して、地域活動をバックアップしていく後ろ盾を教育委員会として必要だと思います。</p>
橋本委員	<p>地域学校協働本部は始動したばかりではありますが、地域格差があるのを感じています。各本部の活動数をグラフ等で表すことは可能ですか。</p>
社会教育課長	<p>数を表示することは可能ですが、どこまでを活動に含めるかという問題はあります。現在行っている活動もありますので、公民館を介して、コーディネーターを介して見守りとかあいさつ運動などを行っているところもありますし、その先に協働活動ということでは、お互いにWin-Winな活動をするということに関しては、まだ進んでいないところもあります。それを含めた形で数として報告は可能だと思います。ただ、途中の段階のものもありますので、年度で区切ることになるかもしれません。</p>
橋本委員	<p>未来ネットでは、活動する前に年間計画を立てています。前年の取り組みの反省などから計画を作ります。計画策定した際には見せていただけるとありがたいです。</p>
高山職務代理者	<p>活動の進捗状況を定期的に報告していただきたいのと、地域交流研修会などの場において、先進的な取り組みなどを発表してもらえれば活動が広がっていくと思います。</p>
齋藤委員	<p>コミュニティスクールについての議題ということで、何人か聞き取りをしました。学校運営協議会に関しては、評議員会と変わりがないとの意見がありました。記憶違い等あるかもしれませんが、中学校の方針については詳しい説明があったが、小学校については説明がなく、以前の評議員会の方が地域との繋がりができたとのことでした。地区によっては3校が対象となるため、時間をしっかり確保して活動するよう指導いただけたらと思います。また、地域学校協働本部については、コーディネーターが上手く機能していないところもあるということでした。コーディネーターが地域からの推薦ではない地区でそうした状況が見受けられるとのこと。今後、研修等行っていただく必要があると思います。学校で茶畑の管理が困難になったことから、コーディネーターが管理してくれる方を探し、管理費用についても自治会からの寄付で賄うことになり、管理をするボランティアも集めたということ。今後も茶畑を活用した教育を続けられることになりました。まさしく、コーディネーターの役割を果たしているかと思いますが、校長先生が相談したのは自校のコーディネーターではないそうです。コーディネーターには自治会長等でなければ難しい局面もあるのではないかと思います。今後の人選に活かしていただければと思います。また、成功事例は広く展開をしていただきたいです。市長の教育に関する所信でも、地域社会との繋がりを一番重視していたかと思います。</p>
教育長	<p>せっかく問題提起いただいたので、一過性で終わることのないよう、まずは実態の報告と、成功事例の発信、連絡協議会などの横のつながりが作れる機会作りを行いたいと思います。地区センター長については市民生活部の管轄で、公民館長を兼任という形になりますが、教育委員会から市長部局へ働きかけを行ういい機会になると思いますので継続的に話し合いをしたいと思います。定期的にコミュニティスクール等について社会教育課だけでなく、学校教育課も含めて教育委員会全体で対応</p>

教育長	<p>しながら、着実に進めていければと思います。委員からの発言にもありましたが、このままでは地域の崩壊にもつながりかねませんので、持続可能な入間市を作る意味でも正念場だと思います。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>(全員なし)</p>
事務局報告	
<p>教育長 社会教育課長 高山職務代理者 社会教育課長 博物館長 教育部長 教育長</p>	<p>事務局より、何か報告はありますか。</p> <p>地区センターの一部夜間閉館の試行についての資料をお配りしました。</p> <p>例えば、災害が発生した場合や発生しそうな場合はどうなるのでしょうか。</p> <p>その場合は、少なくとも午後10時までは職員が対応します。</p> <p>ニュースアリット、むかしのくらしと道具展のチラシ、指定管理者事業のチラシをお配りしました。</p> <p>1月の教育委員会定例会を1月28日(火)午後1時30分から501会議室で予定しています。</p> <p>1月の教育委員会定例会への出席について、ご配慮をお願いします。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>(全員なし)</p>
閉 会	
教育長	以上をもちまして、教育委員会12月定例会を閉会します。